(1)

2

3

4

5

(6)

7

(8)

9

(10)

(1)

2

(3)

(4)

5

(6)

うだけでなく、彼らの生活

るしとみ言葉に支えられ、

良の高価な物を捧げたとい らは、自分の持っていた最

の一つとしてお祝い

価 1部140円(本体133円干共200円) 1年分 **〒**共 紙代のみ 5,000円 3,500円 版10月3~ 3,300 円 振替の140 9 145275 本紙を購読ご希望の方は、前金を そえて、お近くのキリスト教書店 へお申し込み下さい。 教会の購読料は負担金に含みます。

発行所 日本基督教団 169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18 日本キリスト教会館内 電話03(3202)0546 会館内 電話 03(3202)0546 FAX03(3207)3918 E-mail:shimpoh-c@uccj.org 竹竹 前澤 発 行 人編集主筆 印 刷 所 知代志 株式会社きかんし

メッセージ

マタイによる福音書二章一~

全ての人が招かれている日

ほどまでクリスマスを祝う やって来ました。至る所で、 で盛り上がっているのを目 クリスマスの楽しい雰囲気 いるだけかもしれません。 会以外の場所で、クリスチ にします。でもどうして教 おそらく毎年来るイベン 今年もまたクリスマスが ンでもない人々が、これ 光として、すべての人を照 の喜びに生きるように招か すべての人が喜び祝い、こ リスマスは、分け隔てなく なるイベントで、楽しみた はありません。むしろ、ク んだらそれで終わりなので い人だけが参加して、楽し れている日なのでありま しかし、クリスマスは、単

というよりも、むしろ自分 ラエルが待ち望んでいた救 おいては、クリスマスは、 の救いの訪れをもたらした っていた人々のもとに、神 遠く離れ、闇の中をさまよ い主の誕生は、真の神から の道が開かれました。イス のであります。その意味に 子が生まれたこの日、 ヤ人だけでなく異邦人に 神を喜び讃美する救 ユダ

らすためにお生まれになっ|ではどうすることもできな|そ、その光を見て、喜び、 た日だからであります。御

り、闇の中を歩む人びとこ 闇の中で輝いている光であ だと言えます。御子は、暗 ために備えられた喜びの日 がき、さ迷っている罪人の い罪に苦しみ、闇の中でも

最も遠くにいた者たちが

生を知っていた人物として 異邦人の、占星術の学者た とヨセフ以外で、御子の誕 ちの存在があったことを告 マタイ福音書は、マリア げています。異邦人である 彼らが、ユダヤ人の王とし の内に、すでにクリスマス みにやって来たということ てお生まれになった方を拝

一二ネベの町の成り行きを見

われますが、

、「占い師、

魔

天文学者」の意味に使

会うことができたのであり

葉に導かれて神の御子に出

彼らは輝く星と聖書の御言 めは、神に受け入れられ、

らです。このクリスマスの を通して見てみたいと思い 事に直接に接した人々の姿 意味を、御子の誕生の出来 神を賛美するようになるか それは、真の神から最も遠

殺害した後、追放された地 楽園から追放された場所で 描かれています。それは、 くにいた者たちが、神の救 不満を抱いたヨナが座って でありました。神の決定に 書では「東」は、様々な問 来た人々でありました。 いに最も近くに導かれたと あり、カインが弟アベルを 題を抱えている場所として いうことであります。 アダムとエバが罪を犯して 彼らは、「東の方から」 考えられます。実際に「学 えられていたからです。彼 は月や星などの天体が人間 者」と訳された言葉は、「賢 天体を信仰する人々の間で る学者というだけでなく、 らは天体の動きに通じてい くはなれたところにいたこ でもありました。このこと 祭司の役割を担っていたと の運命を支配する神々に数 うのは多くの異教の国々で とを物語っています。とい

上原智加子

から追放された場所、ある

した。言わば「東」は、神

い意味にも使われていま 術師、魔法使い」という悪

お知らせ

「教団新報」次号四五九四

こうした東の方に住む異 人の占星術の学者たち

> 月二八日に発行致します。 ・九五号を合併号とし、

守ったのも東の方でありま

徴的な場所であると言えま

が、ユダヤの王としてお生

年金局は二九日~一月四日

なお教団事務局、出版局、

は休業致します。

総幹事 竹前 昇

 \Diamond

▼教会員が、

枚の写真を

まれになった方の誕生のし

また彼らは占星術の学者

るしを発見して、そのこと

彼らが真の神からは遠

のであります。神から遠く ヤの国へ向かって旅立った を喜び祝うために早速ユダ さらに神への反抗を示す象 いは逃亡する場所であり、

具の神を礼拝する生活へ

須磨月見山教会

しかしながら、学者たち

ります。

のメシアに一目お会いした 本来なら、真の神を礼拝 ることに徹したのでした。 せずに、冷たい傍観者であ ります。そして彼らと一緒 ルサレムの住民たちは、メ 教的指導者たち、そしてエ いという熱意とは対照的 であるのに彼らは尻込み 許に急いで拝みに行くべき のユダヤの民こそ、その御 不安と恐れを抱いたのであ ても喜ぶどころか、むしろ シアの誕生の知らせを聞い メシアを待望してきたはず に御子を拝みに行こうとも ヘロデ王とユダヤの宗 るしを見ることができなか の姿の内には、何一つ輝か 者たちは、救い主、ユダヤ ありました。 子のみ許にと導かれたので 神に反逆する地に住む異邦 くことはありませんでし ったにも関わらず、つまず と熱望し、神に許されて御 メシアの誕生を一目見よう 人の方が、しるしを見て、 しい栄光の王たるようなし して、苦労してやっと辿り 人の王として生まれた御子 また驚くべきことに、学 そして、彼らとは反対に、

て礼拝を捧げたのでありま 美し、御子の前にひれ伏し 見て、喜びに満たされ、 の内に、神の言葉の成就を がなくても、その貧しい姿 リアと共にいた幼子の姿で しい栄光の姿を見出すこと は、御子の内に何一つ輝か あったのであります。 貧しい小屋の中にただ母マ そしてまた彼らは、御子 彼ら 賛

そのものを変えられまし った御子に出会い、生き方 を救うためにお生まれにな 邦人を照らす光として、世 ものに目を注いで、希望を それは彼らが、見えない ついにユダヤの王、 神が与えて下さると 異

であったとするなら、その

彼らがもし魔術師のたぐい 贈り物を差し出しました。

でもあったと言えます。彼 贈り物は、彼らの商売道具

術に満ちた生活から、真の ることによって、彼らは言 げたのであります。そうす 神を礼拝する生活へと、 わば、これまでの偶像や魔 を成り立たせていた大切な ものを惜しみなく御子に捧 そ

生き方を変 くえられ

同じ夢を見たそうだ。▼他 所を訪ねたい。三晩続けて

には手がかりがないまま、

なく、神の約束の確かさに 信頼して、わたしたちを真 スの外見の華やかさにでは 私たちもまた、クリスマ 得た。写真の一人が故M牧 コピーをもって教団に行っ ▼初めてイエス様に声を掛 師だろうと見当がついた。 けられた日、信仰の友を得 たら、直ぐに有力な情報を

た「黄金、乳香、没薬」の の前に自分たちが持ってき

> 望んできた王、メシアを一 を見て、イスラエルが待ち た異邦人の彼らが、しるし 術に満ちた生活の中にあっ いを抱いたのでありまし 離れ、偶像やまじない、魔 目見て拝みたいとの強い願 携えて来た。

かに思い出されると言う。 るが、所番地や教会名は不 る。その最前列真ん中、お 九〇人ばかりの顔が見え リスマス集会とは覚えてい ▼牛込のとある民家でのク かっぱ頭の少女が当人との 昨日の出来事のように鮮や 確か。▼この時のことが、 こと。成る程面影を見る。 真には、青年から幼児まで セピアに変色 い昔の集合写 した八〇年近

た。そして彼らの熱心な求

も暗示されています。 帰って行ったことのうちに の道」を通って自分の国へ の生き方そのものを決定的 に変えられたのだと言えま このことは、彼らが「別 な得意なような。あの日に らされた。恥ずかしいよう いと呼び出され真ん中に座 帰りたい。もう一度あの場 人数に圧倒されて後ろの方 にいたら、前にいらっしゃ

導かれて異邦人の学者たち 輝く星と聖書の御言葉に 信仰を抱いて歩んだからで

出していきましょう。 で、信仰の服従の道を歩み ます。そして新たな気持ち かりと受け止めたいと思い に生かす救いの喜びをしっ (須磨月見山教会牧師)一今も昨日のことのように。 例え写真が色褪せる程の年 月が経っていても、それは はなんと恵まれたことか。 日。そんな思い出を持つ人 て、高らかに讃美を歌った

から尊敬へ」と題し りへ」第二部「糾弾 第一部「怒りから祈

第 4593 号

は東海教区が部落解放運

Cの「にんげん大学」

を受け継ぐためにあなた 祝福を祈りなさい。祝福 はなりません。かえって 辱をもって侮辱に報いて る『悪をもって悪に、侮

ある六分区を輪番に会場 でいる企画で、教区内に 動の一環として取り組ん

宣言の根底に流れる祈り

こ重なっていると信じま

介し、第二部では、 を喜びと感謝をもって紹 へ変えられていった経緯

除き、差別をなくすだけ そのものへの恐れを取り は、参加者から解放運動

というみ言葉が、水平社 がたは召されたのです』

1

2

3

(4)

5

(6)

7

8

道活動によって自由に国民

日本では「諸宗教は、

の形を鮮明に打ち出した」。 たことでキリスト者の証し 教会四八名であった。

加者に部落解放への啓発 た二度の講演を通して参

を促した。参加者は二三

1

2

(3)

(4)

5

(6)

(7)

センター運営委員会委員

の手紙一第三章九節にあ

(集会案内文より)とい

をした。それは、「ペトロ 講演としていただく依頼 ような視点を踏まえての

講師は、教団部落解放

長の東岡山治氏で、

にんげん大学」開催

東海教区

は、被差別の現場に 「差別をなくすの

以下に記す。

使徒言行録第2章1~27

界との対話】の断片だけを

論争と教会の歴史 現代世 った第六節【アレオパゴス できないが、特に印象的だ

する教会(の建

ければ民は堕落する/教え 会(の建設)」がそれである。 学教授による『伝道する教 れた。山口隆康東京神学大 講演は、箴言の「幻がな 西東京教区伝道協議会・主題講演 | たちを堕落した信仰者、即 から解放してくれる。私た ちが伝道する理由は、それ な『神への服従なき信仰者』 ち、わがままで自己中心的

た西東京教区伝道協議会 ザホテルを会場に開催され 士箱根ランドスコーレプラ 注目すべき主題講演がなさ 会事情に照らしても大いに 一月二三~二四日、富 日本に於ける現在の教 |章18節)」の引用で始められ を守る者は幸いである(29 「『民(信仰者)

神学的な講演に、しかし魅せられる聴衆 幻は、わたし ま (堕落)』は が、堕落する』 う』という意味 ままにふるま とは、民がわが であり、『わがま 対語で、『伝道の 神への服従の反 目己追求の罪、

報

たしたちが、この主のご命 をわたしの弟子にしなさい が復活の主イエス・キリス …マタイ28章19~20節」。わ がたは行って、すべての民 トのご命令だから、『あなた 令に服従していくときに

一に招き入れられて行った。 ようだが、一語一語も丁寧 次第に魅せられ、その世界 招き入れられる」。 自分を献げる喜びの中へと に語る講師の声に、聴衆は 仰者の堕落から解放され、 『術語』に途惑いも感じた 『民のわがまま』という信 当初は耳慣れない神学

教会学としての伝道学

された。

析、四つの型に類型化し、

道が進む場合、また進まな

黙想を欠くことはできな は霊の現臨のもとでの説教

い。伝道の神学の構想にお

更に、既成の伝道論を「伝

また、既成の伝道論を分

「それらの前提となる思考

ければならない」と『伝道 はなく、『推進装置』でな

を推進する伝道学』が強調

思考が必要である」と大胆

に述べられた。

拝説教の準備過程において める思考が要求される」「礼 と呼ばれるに値しない。伝

道という課題・目標に対し

ないとしたら『伝道学(論)』

て『説明理論』「解釈装置」で

論のパラダイムを一度更地

るには、福音伝道の閉塞状

動によって自分の存在意義 められ…どの宗教も伝道活

を社会に対して表現せねば

としての伝道学』を構想す

第二章では、「『教会の学

の中に根をおろすことが認

伝道黙想』が必要

を発見し、慄然とした。

出来ないことの理由説明ば の中で、伝道しない、伝道 昧になって行く時代の現実

かり巧みになっている自分

況が打破され、活ける水が

譬えるならば、既成の伝道 さねばならない。建築物に には、この問題を解きほぐ

にして、基礎部分から確認

しつつ再建築し直すような

泉からあふれ出ることを求

う自由競争において、教団 ならない…宗教は伝道とい

の存在価値を実証せねばな

道を展開し、推進する」べ ており、その第一章では、 「日本という伝道地で、 本論は、三部構成になっ 伝 一が提唱された。

い」と指摘した。

その上で、「伝道推進を可

|論である」とし、「この問

が提唱された。

ぶべき『伝道黙想』の必要

パウロの伝道活動が個人プ

出人を連名にするほどに レイでなく、その手紙の差

『伝道する者たちの交わ

り、解釈装置としての伝道

要するに説明理論なのであ

伝道の神学』になっていな

むにせよ、進まないにせよ、 解釈装置である。伝道が進

黙想を欠くことはできな

い」と、『説教黙想』と並

音伝道という課題のめぐる

形式は、思考の枠組みや思

後説明をする理論であり、 い場合の実態を認識し、事

いても聖書を前に置き、福

考構造が『伝道を推進する

| く『教会学としての伝道学』 | ができない 『理念』 に過ぎ | 能にする伝道の神学となる ることに辿り着いた喜び を先生からお伺いする」 の歩みを振り返っていた 岡先生ご自身のこれまで すが、この点について東 だきながらここに導かれ 識や理論にとどまり、実際 見をなくすためには、糾 と行き過ぎの事例を紹介 弾を越えてだれもが尊敬 を糾弾することの正当性 しつつも、差別意識や偏 には福音伝道を進めること 「伝道に関する神学的認

教

回「にんげん大学」が十

は、

主催者側から以下の

月三日沼津教会を会場

にして開催された。

特別委員会主催の第一六

東海教区部落差別問題

として行なわれている。

東岡氏への講師依頼に

团

新

ことを訴えた。 合う関係を築いていく 参加者の一人は、 り、福音に生かされる喜 でなく、差別を越えるこ ことができた集会とな との大切さを受け止める びを味わって散会した。

部落差別問題特別委員会

約がありその要約さえ紹介

が六例示された。紙数の制

による『伝道黙想』の実例

(宮本義弘報・東海教区

であった。

さながら伝道集会のよう

キストとした山口牧師自身

また「使徒言行録」をテ

部落解放運動の一環として うものであった。 分汲んだもので、第一部 の原点に祈りを置くこと では、じぶんが解放運動 は、主催者側の意図を十 東岡氏の二度の講演 講師の指摘に心を動かさ みて分かることだ」との の中で生き、体で身にし 性に育まれ、その者たち れたと語っている。 とのように今回の集会 行き、その人々の感

律によって裁判を受け…自

は、民衆の前でローマの法

訴したか…ローマの市民 節。「パウロはなぜ皇帝に上

由に弁論できる権利がある

・・パウロは、皇帝に上訴し



主題講演

山口隆康東京神学大学教授 と、繰り返し強調して提唱 が要請されることになる」 『教会学としての伝道学』

講演に聴き入りながら、

推進装置そのものである 題点を克服するためには、

とさえ多様に解釈され、曖

「イエス・キリストの十字

会的活動〉である。大胆に

活動そのものが重要な〈社

「伝道とは何か」というこ















(10)





伝道する共 同体』の形成

地下鉄、センター北駅前に てきた開拓伝道、特に、五 卒業して以来、留学期間を 践」。山口教授が神学大学を 展開する都市伝道が紹介さ の実践例に焦点が充てら 除いて、殆どの期間携わっ ての伝道学のスケッチと実 れ、両教会の協力による新 反田教会と玉川平安教会で しい形態の伝道、横浜市営 第三章は「教会の学とし 督教団常議員会による決 る』(一九九五年九月日本基 聞く教会を形成しつつ、福 い。以下に抜き書きする。 を報告することは許されな ここでも紙数の関係上詳細 興味深いものであったが、 具体例を通して語られた。 れた。単に事例の紹介に留 音を地の果てまで宣教す まらず、その伝道的意義が、 『伝道』とは『御言葉に

る。伝道を進 議)ことであ め、展開して 共同体』があった」。 をそこに形成する」。 「伝道を進める祈りの共

ている。そこに『伝道する り』があったことを物語っ

同体は、一個教会の枠を突 破し『伝道する教会共同体』

刻んだことを報告する。決 聴衆として聞き取り、心に 教会にお招きしたい」と感 き入り「もっと聞きたい、 して平易な主題ではなかっ 想を言う信徒の出席者が多 たように思うが、熱心に聞 ダイジェストでもなく、一 以上、講演の概要でも、

くことのでき いくために欠

ない課題は、 『伝道学とそ

センター北駅前=このビルの中で開拓伝道

神学』は、机

る…『伝道の の実践』であ

上の空論であ

されない…具 体的な伝道活 ることはゆる かったことが印象的であっ た。併せて報告する。 (文責・教団新報編集部)



















































今年は「開拓伝道」についてのテ

区伝道協議会』を開催しています。

教師がともに学び議論する『教

西東京教区では毎年秋に、信徒

吉岡光人

たのも、

そうしたことが背景にあ

ります。そのために支区時代から

という宣教論的な意義を確認しよ 据えつつ、なお、教会を生み出す います。「そうした厳しい現実を見

う」、協議会の参加者の中にはその

ような熱い思いがあふれていまし

りたいという願いを持ち続けてき

西東京

教区に数会とな出せる

れていました。

西支区が教区にな

いか、という批判も当然でてきて したものになっていないのではな

時代から開拓伝道の必要性が叫ば

から丁寧に準備された資料

として開かれた。

この協議会は原則として

〇年-歴史と展望」を主題 督長老教会との協約改定二

的歴史の浅い教会が多いのがこの

五年以降に設立されており、比較 四分の三の教会・伝道所が一九四 -マで行われました。 教区内の約

教区

きました。 度」などを整えて 制や「伝道互助制 による伝道協力体

> に教師たちが大変励まされまし た。とりわけ信徒の方々の熱心さ

一方、礼拝出席

堕落する」という箴言の御言葉が た。講師から「幻がなければ民は

教区の特徴です。また三〇年ほど

から人口の激増した八王子・町

新

共有できる宣教課題を!

続してきた。殊に八月下旬 策会議の開催への協議を継 起し、それをもとに宣教方 きる宣教に資する課題を提 区・教会・伝道所が共有で

と記す Presbyterian

基督長老教会(以下PCT

(以下教団と記す)と台湾

第一〇回日本基督教団

Church in Taiwan

には宣教方策会議準備会を

月一四日(月)から一六日 略)との教会協議会が一一

(水) まで東京で「台湾基

教

才

縄教区は欠席)の宣教委員

宣

方策会議開催を全員

致で可決

〇六年三月神戸栄光教会を会場に

会が一一月七~八日、教第3総会期第三回宣教委

(2)

2

(3)

(3)

(4)

(5)

 $(\mathbf{6})$

7

(8)

9)

(10) **(10)**

団の更なる連携による形成 なされ、協議に入った。 常設専門委員会等の報告が を願う説教がなされた。 協議の主要事項の一つは 諸報告では、常議員会、 宣教方策会議に関する件で

員が担当し、一コリント一 | 章一二節に基づいて、教

巡る概念、語義について学 の開催が懸念されていた。 行き詰まりのゆえに対立を 際立たせかねないと、会議 第3総会期は、宣教理解の そのため教団の「宣教」を

が提出された。そこで共通 題を共有できる宣教方策会 来る危機感であった。しか し準備会は今後に向けて問 した問題は宣教の低迷から

議が開催できることを確認|揃っての参加を期待してい|たことになる。 前者につい た。なお当委員会は全教区

宣 教 委員会 ることを全員一致で可決し 五〇年をふまえてー」と題 神戸栄光教会を会場に「二 プロテスタント伝道開始一 は二〇〇六年三月六~七日 して宣教方策会議を開催す と展望-特に戦後六〇年、 一世紀を迎えた教会の現状

した。その上で今期委員会

ある自主活動団体認定申請 主要協議事項の二つ目で

会」)を巡って審議し、後者 いて自主活動団体が誕生し で全国教会婦人会連合に続 については承認した。これ 教団全国教会幼稚園連絡 教保育所同盟」、「日本基督 に関する件(「日本キリスト

委員会として丁寧に対処し を巡る提案がなされ、 承認に向けて更なる

てゆくことを申し合わせ 活動者全国交流会」の開催 ら「障害者差別と取り組む 障害者差別問題小委員会か 精査、調整を進めてゆく。 について、今後の資金繰り (藤田義哉報)

日本基督教団と台湾基督長老教会との教会協議 歴史と展望」主題に

会

見送らざるを得なかった。

そこで今期委員会は全教

がら宣教方策会議の開催を びを重ねてきたが、残念な

団からは三役、総幹事、担 どをはじめ一四教区から参 当幹事、教会婦人会連合な 海教区に送り出してくださ っている宣教師ディヴァン 加者があった。PCTが北 た。PCTから一五名、教 いて交互に開催されてき 二年ごとに台湾と日本にお から参加してくださった。 ・スクルマン師も北海教区 場に行われた。今年が教団 でもあった中野サンプラ 事であった。 割と位置づけ、また関係性 教区における台湾教会の役 友愛会(以下SCF)を会 会、協議は学生キリスト教 の重要性を感じさせる出来 レセプションが宿泊場所

東京台湾教会が所属する西 セプションと開会礼拝に出 係を構築するための学びと 証しこれからのよりよき関 年となるため、これまでの 両教会の関係を歴史的に検

あった。協 三年に締結 約は一九六 協議の場で 世楷氏が挨拶に来られた

接に結びついた出来事であ のである。PCTの信仰に ろんご本人が誠実な信仰者 であることからなされたも 基づく社会との関わりと密 って、歩みをともにするの

今後どのように関わ

早期の解決が望まれているたが、残りの教区に関して

共同声明が採択された。

との認識が再確認された。

記念すべき第10回協議会

が無いため、大使館は双方 長がするといったように、 駐日台湾大使に相当する謝 台湾と日本とは正式な国交 済文化代表處代表である謝 ラムは進んだ。 CT陳議長の説教による閉 も同様に進めていかれ、 し、挨拶を陳信良PCT議 会礼拝まで友好的にプログ 究、発題、協議の司会など 者が役割を担った。聖書研 に存在しないが、実質的な 台北在日経

のである。 定されたも 八五年に改 開会礼拝 氏が来られたことは、もち

久教団議長 が説教し、 それを教団からの参加者が ら孤立させられていること PCTからの参加者の発

> の問題として、教団に所属 している台湾教会の負担金

行われることも確認され

教会婦人会連合とSC

参加者と両教会の責務であ 今後も続けて行くことが、 とPCTが実を結ぶ関係を の交流プログラムが日本で

来年には、両教会の青年

で終わるのではなく、教団い。この協議会が話し合い

かが繰り返し問われた。

第 10 回日本基督教団と台湾基督長老教会との教会協議会

声

日本基督教団と台湾基督長老教会は 2005 年 11 月 14 日から 16 日ま で、日本基督教団学生キリスト教友愛会会館において、第 10 回教会協 議会を開催した。両教会は第二次世界大戦後の1963年に宣教協約を締 これをさらに強力なものとするために、 訂した。本年は改訂後20年の記念すべき年に当たる。われわれは「日 本基督教団と台湾基督長老教会との協約改訂 20年-歴史と展望」を主 題として、これまでの共同の歴史を確認し評価反省すると共に、現在 両教会が直面している歴史的状況と宣教の課題を追求し、これを協力 関係教会として分かち合い共に担ってゆく、新しい具体的な関係を構 築しようと努力した。歴史の主の導きの下に、21世紀の教会の共働の 歩みが築かれることを祈りつつ、両教会は以下の共同声明を発表する。

- 1. 世界宣教の展開によって、教会は地球規模でエキュメニカルな共 同体として存在し、しかも各地域の教会が、対等のパートナーとし て、共同の宣教を推進する状況となった。日本と台湾の教会も、東 アジアの他の諸教会と共に、この地域の宣教を協力して推進するた めに努力する。われわれは、台湾の教会がこれまで世界とアジアに おける重要なパートナーとして受け入れられ、またエキュメニカル な使命を果たしてきたことを確認する。
- 2. われわれは、信仰と神から与えられた人権に基づき、台湾2300万

- 人の住民が国際社会から孤立せられ隔絶させられていることを強く 台湾国という新しい国名をもって国際社会の働きに参 権利と義務を果たせるようになるために戦っている、 基督長老教会を強く支持する。特に、UN(国連)、WHO(世界保健 などの国際社会に台湾が加入することに共々に尽力する。
- 台湾における原住民教会が台湾基督長老教会の中で果たし 大きな役割に注目し、日本の教会もアイヌ民族や少数グループとの 交わりと宣教について努力し、そのために両教会は宣教師の派遣を はじめ、宣教の協力を推進する。
- 4. 両教会は、明日の宣教を共同して推進するために、両国の諸神学 校間で神学教師、神学生の交流を推進する。
- 5. 日台の社会共通に、高齢化、少子化等の問題を抱えている現状に かんがみ、高齢者、婦人、青年各層の国際的交流と宣教のために、 協議会、相互伝道等の企画を推進する。

われわれは、霊性の枯渇によって人間と社会が深刻な危機にあるこ とを憂慮し、聖霊の導きを祈り求めつつ伝道に励み、上述のヴィジョ ンの実現のために、相互の努力を重ね、新しい十年を切り開きたい。 時代の挑戦を真摯にかつ勇気を持って受け止め、神の国の到来を信じ、 それぞれの地に根を張り実を結ぶことを祈るものである。 2005年11月16日

第 10 回日本基督教団と台湾基督長老教会との教会協議会

(3)

(西東京教区総会議長)

うことは、各個教会の現実を反映 ど、各個教会の現実も大変厳しい 者の減少傾向、経済的な困難さな 2 開拓伝道ということがらを話し合

(3)

田などの市部にはまだまだ教会の

を認め合いながらも、幻を追い求 ありたいと願っています。 示されました。互いに厳しい現実 主の教会を建てる教区で

5

(4)

(6)

すでに西東京教区と大阪教

会がプログラムの準備を行 Fの協力を得て、 教育委員

(10)

थったが、私はそれぞれの教会で

5分の出来る事をさせて頂いてき

玉川教会、 秋田高陽教会と 任地は

その後、鳥羽教会、春採教会、

く考えずに結婚したというのが、 が牧師のパートナーになる事は深

坐当のところである。

た。今でこそ、牧師のパートナー

1

2

3

4

5

(6)

7

松としては、出会った人がたまた

与るとき結婚してから三六年。 最初の任地である男鹿教会に赴

二人で何度も祈り、

よ神学生だったのであって、自分

幼稚園の副園長として働いている する春採教会で教会員となり、又

今私は、この四月から夫が牧会

、この事が不思議でならない。

教

教会だからである。その時と同じ 削に赴任し、夫が九年間牧会した というのも、春採教会は、二四年

ff館に再び住み、

同じ様に幼稚

図で働いている事の不思議さ。 し

し、振り返って見ると、これま

た。でも、夫は、「教会から招聘

いう、教会内で微妙な立場があっ になったが、以前は、「牧師夫人」と 1

2

(3)

(4)

以上に、どの教会でも良き交わり

舌い思いをした事もあるが、それ

を与えられて、私の信仰が育てら

答えいただき、当年鑑につ

その実像に迫る。*A5判・

三三六頁・六七二〇円

是非アンケートハガキにお

アジアの教会など、現地に 合おうとしたのか。沖縄・

赴き、丹念に証言を集め、

仰生活だけで良いのではない、

連合に関わる事で、自分の信

わりが消えた。

個教会が連帯し、全体教会とな

る。

教団の宣教という事に視野

を広げられた。聖書を良く読む ようになった。また、受け身だ

価三六〇〇円+税)。また、

ご購入いただいた方には、

接お買い求めください(定

その時、教団・教会・教会 五年間におよぶ戦争状態。 日中戦争から敗戦に至る

員は戦争とどのように向き

れてきた恵みを思う。

そして四年前、秋田高陽教会に

活をさせて頂いた。野菜作りや野 と共に、近くの野幌教会で教会生

ます。なお、直接お買い求

さんびか改訂版』(原崎悦子

『手話で歌おう!ーこども

二月発行予定の追録を送り ただければ幸いです。来年 いてのご感想やご批判をい

めの際は、〇三一三二〇二

手話はとてもチャーミン

=監修/石橋えり子=絵)

活をする事が出来た。勿論失敗や

奉仕を選択し、のびのびと教会生

私は一信徒として、自由に自分の

私の立場を明確にしてくれた為、

という考えから、どの教会でも、 牧師を支えるのは役員会である。 の妻は一教会員であり、教会内で を受けたのは牧師であって、牧師

烂化して半年経た時、 それまで健 られた道の 不思議さ 青砥恵美子

って支えられた命だからこそもう

は徐々に回復し、多くの祈りによ

お電話ください。

ストレスも無い生活から夫の健康 **局観察等自然の中で体を動かし、**

康そのものだった夫が、急性骨髄 性白血病を発病し

言えるのかも知れないが…。

での私の人生そのものが不思議と

仪で神学生だった夫と出会い、彼

幼稚園教諭となる為に入った学

(春採教会員) で決心した。そして今、「元気で からの招聘が来たのである。勿論 5共に再び春採教会に居る。 不思 **性になった。そんな時、春採教会** 度神様に用いて頂きたいと思う

が牧会した教会の 衝撃は大きかった。 区の教会、友人、夫 論のこと、地区や教 多くの祈りと励まし のである。その間、 化学療法が始まった 院し、一年半に及ぶ 全てを主に委ねて入 亡くしていた教会の 高陽教会の方々は勿 が寄せられた。秋田 驚き。私達にしても、 前任牧師を癌で

湖畔幼稚園の玄関ホールにて

の諸問題』(関田寛雄)牧

『断片」の神学-実践神学

を収録。*B5判・四〇頁

三四七(たたえよ、聖霊を)

▼新刊から

出版局ニュース

三三一(恐れを捨て去り)

海道に戻る事を願っていたので、 られたが、残念な事に、抗癌剤の 師のパートナーという立場で、夫 長沼に住んで一年。私は無任所牧 副作用で牧会を続けるのが難しく 治療を終えて、一応白血病は抑え りの確かさ、祈りの力を実感した。 くせない力となった。教会の交わ 行く私にとっても、言葉に言い尽 園の仕事を終えて毎日夫に会い!! 療をしている夫にとって、又幼稚 私達を支えて下さった。厳しい治 足を運ぶなど、それぞれの方法で 心をした。北海道出身の夫は、 なり、秋田高陽教会を辞任する決 ール、寄せ書き、直接秋田まで

情報を満載しておりますの

誠)一九三一年に始まった

プロテスタント教会」(原

で、是非、最寄りのキリス

△教書店もしくは当方で直

年鑑二〇〇六年版を刊行い

教会 — 一五年戦争下の日本

『国家を超えられなかった

★教団年鑑刊行のお知らせ

八頁・五七七五円

お知らせ

このたび、日本基督教団

たしました。今回も新たな

[©]催し[©]

めに。一六曲収録。*B5

会学校やこどもの礼拝のた

こどもたちが生き生き。 教

日本基督教団総務部年鑑係

表現しよう。手話で歌うと 思いを全身を使って豊かに グ。一語一語に込められた

100五年11月

所費03-3203-42 室/問合せ―東京教区事務 4キリスト教会館 4階会議 東京教区原理問題相談会 (金) 13時~15時/所=日 |時|||2006年1月2日 れ野の中で)、三一四(神 美歌委員会=編)二八四(荒 テコステ』(日本基督教団讃 判。四〇頁。九九八円 の国の命の木よ)、三二四 レント・イースター・ペン 一八(ハレルヤ、ハレルヤ)、 『讃美歌21 合唱曲集7-(主イェスはすすみて)、三

として五〇年。生活の現場 師として、神学者・教育者 神学について現代の問題を 教そして明日を目指す実践 鋭く指摘しつつ、これから で直面する一つ一つの問題 て考察、説教・牧会・宣 ・切実な神学の課題を見出 ックサービス」がご自宅ま 書籍のご注文を承っており 料。ご利用ください でお届けします。お買い上 ます。「クロネコヤマトのブ ★出版局のホームページで http://www.bp.uccj.or.jp 一五〇〇円以上送料無

(5)

(6)

7

(8)

9

(10)

の日本の教会の宣教への提

言をする。*A5判・四五

清水 操さん

主から与えられた 使命を走る



1935 年生まれ、全国教会婦人 会連合中央委員長、神戸栄光教

ます」と、にこやかに話す。 合三○周年の大会が神戸で行わ 中での関わりだった。教区の震 員を出せず、順番が回ってきた。 災がきっかけだった。連合の委 れる時、準備委員となった。 す。しかし当番教会が被災で委 員は、地域の教会が順番制で出 員長として手腕があるのではな 炎関連の働きにも関わった。 連 目身も夫の両親を震災で失った いの。交通整理役だと思ってい 台中央委員長に再選された。「委 婦人会連合に関わったのは震 この六月、全国教会婦人会連 使命だと思って走ってきた。 た。それからは、ただひたすら、

様から降ってきたものだと思っ 分で切り開いた道ではない。神 の点が全て繋がっていくの」自 全て神様のご計画で、たくさん

「震災があったから今がある

う思って悩んだ。しかし、パウ 救いも感じた。その様な中、夫 りを感じた。 られているのに、自分の罪ばか があった。パウロはロマ書七章 は信じているのか」という問い どんなに自分 信仰を裸にされる体験をした。 の転勤で名古屋で七年過ごし、 口でさえ、そう書いている事に に全てを委ねられないのか。そ で良いのか。 ている。神様から善い物を与え で「内在する罪」について書い 洗礼を受けた後、「本当に自分 自分の信仰はこれ どうして自分は神 が構えていても神 そう思った時と

様はお見通し

られている。そのことに感謝の と言う。私もキリストに捕らえ

日々を歩んでいる。

を読む事で牧師の説教と響き会

て聞かなければならない。聖書

しているか。自分も備えをし

む」と変えられた。牧師が説教

たものが、「自分で聖書を読

する為に、どれだけ祈り、準備

うものを感じる。

今はフィリピ三章の気持ちだ

oddadlloddadlloddadlloddadlloddadllodda

年間、「同宗連」の副議長教団に就 題』にとりくむ宗教教団連帯会議」 目があるが、その一つに「『同和問 (「同宗連」)の「副議長」がある。 これは、日本基督教団がこの二 現在の立場で内外に幾つかの役

員会に出席することとなる。 分かる人は少ないのではないか。 の呼称でどこへ行けば良いのかが 宗務庁(住所は記載)」と来るが、こ 例えば、連絡で会場は「浄土宗 何と一三世紀に建立された有 行けばよいと思

任したことによる。従って、二~ 三ヶ月に一度、六教団から成る役 歴史と伝

それ故、同宗務庁も、世界最大の つ所にあり、全ての事が足りる。 ば、礼拝堂も牧師館もほとんど一 違いで、広大な敷地の故、本堂か 歴史的木造門を潜って本堂近辺へ ったのが大きな間

名な「浄土宗総本山・知恩院」の 甘くはなかった 会場は簡単に分かると思ったが、 こと。それ故「知恩院」に行けば つまり、私たちは、教会へ行け ら一〇分ほど歩いた所にあった。 務局とは二桁も三桁も違い、大企 業の管理事務所の様相である。

さらに同宗務庁は、我が教団事

|統を思う えうる教会を本当にたてているの かが常に問われているであろう。 られるものではないが、歴史に耐 二百年後はどうなっているのか。 てきただろうか。そして、百年、耐え、また歴史に残せる歩みをし 宣教一五〇年を迎えるが、歴史に 規模だけ大きくなることが求め 私たちキリスト教は、二年後に

8

(10)

(教団総会副議長

小林